

## 第9号議案

令和3年度に小学校および中学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条第1項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第8条に定める採択基準と選定に必要な資料について

令和3年度に小学校および中学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条第1項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第8条に定める採択基準と選定に必要な資料について、次のとおり定める。

令和2年5月19日

滋賀県教育委員会

---

別紙のとおり

令和3年度に小学校および中学校の特別支援学級において使用する学校教育法附則第9条第1項に規定する教科用図書の採択の適正を図るため、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第8条に定める採択基準と選定に必要な資料について

## 1 採択基準について

- (1) 採択にあたっては、令和2年3月27日付け元文科初第1807号「教科書採択における公正確保の徹底等について（通知）」および令和2年3月27日付け元初教科第39号「令和3年度使用教科書の採択事務処理について（通知）」に基づき、専門的な教科書研究の充実を図るとともに、適正かつ公正な採択および開かれた採択を確保すること。
- (2) 採択にあたっての留意事項  
文部科学省検定教科書、文部科学省著作教科書および一般図書を学校教育法附則第9条第1項に規定する教科書として採択する場合は、次の事項に留意すること。
  - ① 児童生徒の実態に応じた適切なものであること。
  - ② 教科の主たる教材として、教育上適切なものであること。
  - ③ 校種間、学年間で使用する教科書の内容の関連性を考慮するとともに、採択する図書の間の系統性も配慮すること。
  - ④ 下学年の文部科学省検定教科書を使用する場合は、採択地区内のものと同一のものを採択すること。
  - ⑤ 令和3年度に小学校および中学校の特別支援学級において使用する教科書の採択にあたっては、県教育委員会の示す「選定に必要な資料」を十分活用すること。

## 2 選定に必要な資料について

教科書の選定に必要な資料は、以下のとおりとすること。

- ア「小学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料（2019年度作成）」
- イ「小学校教科用図書選定に必要な資料（2019年度作成）」
- ウ「中学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料（令和2年度作成）」
- エ「中学校教科用図書選定に必要な資料（令和2年度作成）」
- オ「令和3年度用一般図書一覧（文部科学省）」
- カ「令和2年3月末現在において絶版、在庫不足等の理由により供給不能となっている図書一覧」

小学校特別支援学級教科用図書選定に必要な資料

(2019年度作成)

# — 小学校特別支援学級 —

○知的障害のある児童の場合

教科書の調査研究における観点について . . . . .	1
教科用図書調査研究観点(著作教科書・一般図書) . . . . .	5
小学校特別支援学級(知的障害)学年別使用のめやす . . . . .	8
国語 . . . . .	9
書写 . . . . .	15
社会 . . . . .	16
地図(社会) . . . . .	20
算数 . . . . .	21
理科 . . . . .	26
生活 . . . . .	31
音楽 . . . . .	32
図画工作 . . . . .	35
家庭 . . . . .	40
保健 . . . . .	43
英語 . . . . .	47
道徳 . . . . .	50

○知的障害をとまなわない児童の場合 . . . . . 52

本県では、第3期教育振興基本計画（2019年度～2023年度）を新たに策定し、基本目標である、「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」を受け、滋賀に生きる子どもたちの確かな学力を育むため、新学習指導要領の求める教育の理念に基づき、一人ひとりの基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、文章や対話などから「読み解く力」を社会で生きていくために必要な力と位置付け、身に付けた知識・技能を活用して解決する力を育む教育の推進を図るところである。

特別支援教育においては、障害のある児童生徒一人ひとりが、障害による学習上または生活上の困難を改善・克服し、自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度や表現力、習慣を養うことを目的として、それぞれの障害の種別や程度に応じた指導を行う必要がある。また同時に、児童生徒一人ひとりの「学ぶ力」を向上させていくことが大切である。

このため、障害のある児童生徒が使用する教科書の調査研究にあたり、学習指導要領の各教科・分野の「目標」を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能の習得とその活用に特に留意し調査研究をするものとする。

また、児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に加えて留意すべき項目として、それぞれの障害種に応じた基礎的な視点を加味しながら調査研究する。

### ■「自立と社会参加のために必要な知識、技能、態度、習慣の育成」にかかる調査研究の観点

- A 日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか
- B 社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか
- C 児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか
- D 家庭や地域と結びついた学習となるよう工夫されているか
- E 作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか

◇ 観点A：

**日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう基礎的・基本的な事項が取り上げられているか**

自立と社会参加をめざし、日常生活や社会生活に必要な技能や習慣が身に付くよう指導するとともに、あいさつや礼儀作法、また時間を守ることや決まりを守ることなどの日常生活や社会生活に密接に関係した指導は大変重要である。

こうしたことから、日常生活や社会生活に必要な知識、技能や習慣が身に付くよう、できるだけ基礎的・基本的な事項や事柄が取り上げられている必要がある。

◇ 観点B：

**社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるための言語活動の充実に向けた内容となるよう工夫されているか**

知識・技能の習得や、これらを活用して課題を解決するために思考し、判断し、表現することは言語を中心として行われていることから、言語能力を高めることは、感性や情緒を育て、他者とのコミュニケーション能力や社会性や豊かな心を育むことにつながっていく。

こうしたことから、社会生活や職業生活の基礎的な力を身に付けるためにはその基盤となる言語活動の充実が必要であり、そのための取組や指導に十分な配慮がなされている必要がある。

◇ 観点C：

**児童生徒の自主的・自発的な学習に結び付くよう工夫されているか**

障害のある児童生徒、とりわけ知的障害のある児童生徒の場合、成功経験が少なく主体的に活動に取り組む意欲が十分に育っていないことがある。このため、日常生活と密接に関連した題材を使用することで児童生徒に興味・関心を持たせ、また学習の内容が日常生活や将来の自分にとってのようになされ、つながっていくかを理解させることで、児童生徒の自主的・自発的な学びへとつなげていくことが大切である。

こうしたことから、児童生徒にとって日常的でわかりやすく、また取り組みやすい題材により、意欲や関心、自ら学ぶ態度や姿勢を育てる内容となるよう工夫されている必要がある。

◇ 観点D：

**家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されているか**

知的障害のある児童生徒は、その障害の特性から学習によって得た知識や技能が断片的になりやすく、家庭や地域など実際の生活の場で応用されにくいことが多い。このため、学校と家庭や地域との連携による授業づくりや主体的な学びの充実により、児童生徒の持つ力が家庭や地域の中で発揮できるよう指導を工夫することが大切である。

こうしたことから、できるかぎり家庭での学習や地域とのつながりを取り上げるなどして、家庭や地域と結び付いた学習となるよう工夫されている必要がある。

◇ 観点E：

**作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されているか**

自立と社会参加に向けては、作業や体験の積み重ねにより児童生徒に自信をつけさせていくことが重要である。このため、体育的な活動や文化芸術活動を含めたすべての教科において、児童生徒が自ら課題を設定して、解決に向けて見通しを立てたり、学習したことを振り返ったりする活動を行うことで、児童生徒が知的な好奇心や探究心を育て、主体的に学習に取り組む態度を養えるよう取り組むことが大切である。

こうしたことから、作業的・体験的な活動が十分にできるよう内容が工夫されている必要がある。

## ■ 児童生徒が二つ以上の障害を併せ有する場合に留意すべき事項について

以下に示す点を加味して調査研究を行う。

### ◇ 「視覚障害」

視力や視機能障害の状態、また拡大鏡等の使用による認識の程度にあっているか。

- ・ 行間が広く、文字が大きいか。
- ・ 色彩が鮮明であるか。
- ・ 絵が大きく、簡略であるか。

### ◇ 「聴覚障害」

視覚によって得られた内容が、言語発達を促すことにつながる内容であるか。

### ◇ 「肢体不自由および病・虚弱」

- ・ 肢体不自由の児童生徒にとって取り扱いやすく、かつ安全で破損しにくい体裁（紙質、判型、装丁）であるか。
- ・ 肢体不自由児に多く見られる、不随意運動や眼球振とう、また視野狭窄等の視知覚障害のある児童生徒に対して、「視覚障害」と同様に配慮されているか。

小学校特別支援学級教科用図書調査研究観点（文部科学省著作教科書・一般図書）  
（知的障害のある児童の場合）

「教科書の調査研究における観点」のA～Eの各項目を踏まえたうえで、以下の各教科の具体的な観点により調査研究すること。

各教科・種目 の 具体的 観点	各教科・種目に共通		<ul style="list-style-type: none"> <li>① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。</li> <li>② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。</li> <li>③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。</li> </ul>
	各教科・種目の 具体的 観点	国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。</li> <li>⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。</li> <li>⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。</li> </ul>
		書写	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 丁寧に書くことへの関心や意欲を育てる内容となっているか。</li> <li>⑤ 筆記具や用紙の特質を生かした、児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。</li> </ul>
		社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。</li> <li>⑤ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。</li> </ul>

各 教 科 ・ 種 目 毎 の 具 体 的 観 点	地 図	<p>④ 国土の様子や社会事象、自然環境等に関する理解を促す内容となっているか。</p> <p>⑤ 写真、統計資料などは最新のものが使われ、理解しやすいよう工夫されているか。</p>
	算 数	<p>④ 日常生活に必要な数量や図形の基礎的・基本的な概念や性質が身に付く内容となっているか。</p> <p>⑤ 作業的・体験的な活動を行う内容が工夫されているか。</p>
	理 科	<p>④ 身近な自然を取り上げ、自然の事物・現象についての実感を伴った理解が図れる内容となっているか。</p> <p>⑤ 自然に直接はたらきかけ、その特徴や変化を感覚や活動を通して学べるよう工夫がなされているか。</p>
	生 活	<p>④ 具体的な活動や経験を重視した学習を展開しやすい内容となっているか。</p> <p>⑤ 児童の実態や地域の特徴、季節等が考慮され、体験活動を含む多様な学習活動が進められるよう工夫されているか。</p>
	音 楽	<p>④ 音楽活動を通して音楽を愛好する心情と感性の育成とともに、音楽に親しむ態度や豊かな情操を培う内容となっているか。</p> <p>⑤ 楽しく音楽にかかわり、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されているか。</p>

各 教 科 ・ 種 目 毎 の 具 体 的 観 点	図画工作	<p>④ 題材は、感性を働かせながらつくりだす喜びを味わい、豊かな情操を養う内容となっているか。</p> <p>⑤ 材料や用具、技法が幅広く取り入れられ、豊かな発想につながるよう工夫されているか。</p>
	家庭	<p>④ 日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能および態度を育てる内容となっているか。</p> <p>⑤ 事故防止や安全、衛生に留意できるよう工夫されているか。</p>
	保健	<p>④ 健康の保持増進と体力の向上を目指し、健康で豊かな生活を送る基礎づくりができる内容となっているか。</p> <p>⑤ 健康や安全、病気の予防に留意できるよう工夫されているか。</p>
	外国語	<p>④ 日本語と外国語の違いに気付けるような簡単な表現を通して、外国語や外国への関心を育てる内容となっているか。</p> <p>⑤ 日常生活でよく使われる身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりする活動を通して学習できるよう工夫されているか。</p>
	道徳	<p>④ 明るい生活態度を養うとともに、健全な人生観の育成を図ることができる内容となっているか。</p> <p>⑤ 豊かな道徳的心情を育て、広い視野に立って道徳的判断や行動ができる内容となっているか。</p>

小学校特別支援学級（知的障害） 学年別使用のめやす

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
国語	検：小1	検：小1～2	検：小1～3	検：小1～4	検：小2～5	検：小3～6
	著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書	著：こくご☆～☆☆☆ 一般図書
書写	検：小1	検：小1～2	検：小1～3	検：小1～4	検：小2～5	検：小3～6
社会			検：小3・4		検：小3～5	検：小3～6
			検：小1・2（生活） 一般図書			
地図	検：地図（小学校用）					
算数	検：小1	検：小1～2	検：小1～3	検：小1～4	検：小2～5	検：小3～6
	著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書	著：さんすう☆～☆☆☆ 一般図書
理科			検：小3	検：小3～4	検：小3～5	検：小3～6
			検：小1・2（生活） 一般図書			
生活	検：小1・2					
音楽	検：小1	検：小1～2	検：小1～3	検：小1～4	検：小2～5	検：小3～6
	著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書	著：おんがく☆～☆☆☆ 一般図書
図画工作	検：小1・2		検：小3・4		検：小5・6	
	一般図書	一般図書	一般図書	一般図書	一般図書	一般図書
家庭					検：小5・6 一般図書	
保健			検：小3・4		検：小5・6	
			一般図書		一般図書	
外国語					検：小5・6 一般図書	
道徳	検：小1	検：小1～2	検：小1～3	検：小1～4	検：小2～5	検：小3～6
	一般図書	一般図書	一般図書	一般図書	一般図書	一般図書

※検：文部科学省検定済教科書 著：文部科学省著作教科書

※知的障害をとまわらない児童の場合は、通常の学級における教科用図書に準じて当該学年の文部科学省検定済教科書を使用すること。

種目名 【国 語】

文部科学省著作教科書および一般図書選定のための参考事項

- (1) 「こくご☆」「こくご☆☆」「こくご☆☆☆」 文部科学省著作教科書  
 (めやすとなる学年：「こくご☆」 1～2年  
 : 「こくご☆☆」 2～4年  
 : 「こくご☆☆☆」 3～6年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	大きくわかりやすい挿絵が豊富に掲載され、学習意欲を喚起するよう配慮されながら話したり書いたりする力をつけることができるなど、学習指導要領に沿った内容となっている。児童の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	「聞く、話す」「読む」「書く」の領域ごとにまとめて配列され、障害の特性や発達の状況に合わせて学習しやすく工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	児童の実態に合わせて学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	日常生活における言語が、大きく、わかりやすい表現・表記であり、言語の理解を助け、深められるよう工夫されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	内容は季節的なものや日常生活、社会生活に即したものなど、教材として精選されており、意欲的に言語活動を広げるための指導・支援の場や機会が得やすいよう工夫されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	おはなし教材も含めて構成しており、読書活動につながるような配慮がされている。

- (2) 「あいうえおえほん」 戸田デザイン研究室 (めやすとなる学年：1～2年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	大きくわかりやすい挿絵とひらがなが見開きで表示され、児童の学習意欲を喚起しながら読んだり書いたりする力をつけることができるなど、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	「あし」の「あ」というように、一文字に対応した絵が印象的に配置され、簡単でわかりやすい内容となっている。大きくわかりやすい挿絵と平仮名が見開きで表示され、児童の学習意欲を喚起しながら読んだり書いたりする力をつけたりすることができるなど、学習指導要領に沿った内容となっている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	毛筆体で書かれた平仮名の下には、鉛筆用書体で書き順が示してあり、正しく平仮名が身に付くように配慮されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	文字を学習する入門期に、平仮名との出会いとして活用しやすい構成になっている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	挿絵を見ながら自由に会話ができ、イメージとともに言語活動を広げることができる。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	見開きで、左側の美しくデザインされた絵と右側にすっきりと大きな平仮名の文字が対応していて、大変見やすい。

(3) 「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」入門編2(改訂版)(ひらがなの読み書き)」 同成社  
(めやすとなる学年：1～3年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	平仮名の読み書きができることと単語が書けることをねらいとして、学習指導要領に沿った内容となっており、文字との出会いの段階から、少しずつ言語活動が広げられよう工夫されている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	線なぞりの両端に挿絵があり、「かめさんが歩いているね」というような声かけによって鉛筆を動かすスピードに着目させ、目と手の協応動作を高めるなどの創意工夫がなされている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	文字が大きく、わかりやすい表記であり、絵と対応して理解を助けるよう工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	前半は平仮名を理解しやすいように挿絵が効果的に用意され、絵を見ながら平仮名を読むことに慣れるよう工夫されている。後半は運筆の練習が楽しく繰り返しできるように構成されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	鏡文字を見つける「どれがちがうかな」や、促音、拗音、拗長音、拗促音を見つける「どれかな」など、しっかり見比べて発見する面白さが味わえるように工夫されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	ひらがなの読みでは、「ねこ」と「ねっこ」などというように、促音のある場合とない場合を読み比べるなど、読書活動への窓口につながる手立てが工夫されている。

(4) 「よみかた絵本」 戸田デザイン研究室 (めやすとなる学年：2～3年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	50音の平仮名が取り上げられている。テーマとなる一つの平仮名は赤色で書かれ、その文字が使われていることばが一目でわかるよう工夫され、学習指導要領に沿ったものとなっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	ある程度平仮名を知った段階で、繰り返し読んだり、その音の付くことばを考えたりして、ことばの世界を広げていけるように工夫されている。また、片仮名を使ったことばにも広げられるように構成されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	見開きが一つの平仮名で構成されており、右側の文章に対応し、簡単でわかりやすいデザインが左側に描かれている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	平仮名は赤色、片仮名は青色で表記され、一目でわかりやすい。また、名詞や動詞だけでなく助詞や拗音などがいろいろなところに使われ、繰り返し読む中で発見できる面白さがある。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	テーマとなる一つの平仮名の音を使ったことばがたくさん紹介され、自分で考え、見つけていこうとする意欲がわくように工夫されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	どのページも、こちよリズムの4行のお話にまとめられ、読書活動につながるよう工夫されている。

## (5) 「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」1(改訂版)

(ひらがなのことば・文・文章の読み) 同成社

(めやすとなる学年: 2~4年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	それぞれのページの下に、聞き方・答え方という欄があり、本文を基にして会話が広がるように工夫され、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	簡単な表現・表記となっている。また、内容に即して改行されていて、言語の理解を助け、深められるような工夫がされている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	題材に適した挿絵が用意され、イメージや思考が深まるよう配慮されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	日常生活の基礎・基本となることばが育つような教材が用意されている。言語の力を深め、読みの力を伸ばせるように、段階を追って構成されていて活用しやすい。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	日常生活の中から「ことば」に関する事項が選ばれていて、少しずつ言語活動を広げ、文章表現の向上につながるように構成されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	文章に即して書いてあることを書いてあるとおりに読み取る力と、書いてないことも察して読み取る力が身に付けられるような短編の物語が載せられているなど、読書活動につながるよう工夫されている。

## (6) 「スキンシップ絵本 かたかなアイウエオ」 ひさかたチャイルド

(めやすとなる学年: 1~4年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	1ページに1つ大きく片仮名と絵が見開きで載せてある。また、その片仮名がつくことばも絵と対応して載せてあり、わかりやすく片仮名が身に付くよう配慮され、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	平仮名と対応して五十音順に片仮名のことばが載せられており、手でなぞったり、発音したりしながら片仮名を覚えられるよう構成されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	片仮名の部分を色わけし、視覚的に片仮名を印象づけることによって、形を捉えることができるよう配慮されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	身近な物の中から片仮名のことばが集められており、自然と片仮名のことばに触れられるよう工夫されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	カラフルではっきりとした色彩の挿絵が使われており、児童が親しみやすく興味をもって学習できるよう工夫されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	絵を見ながら片仮名に興味をもって読み進めることができるよう工夫されている。

(7) 「もじのえほん かんじ (2)」 あかね書房 (めやすとなる学年：3～4年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	1～2年生で学習する身近な漢字が取り上げられている。漢字にはいろいろな読み方や使い方があることが理解しやすく、漢字の書き順も学習でき、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字や片仮名にはルビがふられている。また、挿絵がわかりやすく文や言葉と対応させて理解できるよう工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	音読みは赤、訓読みは青ですっきり色わけされ、書き順も書かれていてわかりやすい。また、お話の中で漢字の使い方が自然に学習できるように工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	漢字のいろいろな使い方・読み方を、ばらばらに学習するのではなく、まとまった話の中で提示し、理解しやすいように工夫されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	挿絵からイメージをふくらませておはなしをすることにより、言語活動を豊かにし、本が好きになるきっかけとなるよう配慮されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	1冊を通して、1匹の猫を主人公とした物語となっていて、挿絵もきれいで、活発な読書活動となる工夫がされている。

(8) 「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」2 (改訂版)

(かたかな・かん字の読み書き)」 同成社 (めやすとなる学年：3～5年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	片仮名や漢字に初めて出会う段階から、それを使ったことばや文章を読む段階まで、読み書きの力が積み上がるように工夫されて学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字の成り立ちが一目でわかる絵や、漢数字と対応した絵など、題材に応じた挿絵が用意され、イメージや思考が深まるよう配慮されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	短くわかりやすいことばの読みのページや、なぞったり自分で書き込んだりできるページ、そして簡単なおはなし教材などで構成されており、段階的に学べるよう配列されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	「タオル-てぬぐい」というように同じようなものでも異なる言い方があることや、平仮名、片仮名、漢字で書くことばはどれかなども取り上げられてあり、日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	「アイスクリームのア」というように、文字とことばが印象的につながるように工夫されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	学習の発展として、簡単なおはなし教材が入っており、読書活動につながる手だてとなっている。

## (9) 「小学生向辞典・事典 レインボーことば絵じてん」 学研

(めやすとなる学年：3～5年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	日常の暮らしのなかにある様々な「ことば」と出会えるように工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	見出し語はすべて読み方とともに絵で表現されており、視覚的に理解しやすい。平仮名、片仮名で表記されていて、片仮名には振り仮名がつけられている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	国語辞典のように索引が色分けしてつけられており、知りたい言葉を自分で見つけ考えようとする意欲をもてるよう工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	ひとつのことばをきっかけに、その反対語・対語・関連語、さらにそのことばから連想されることばなどが載せられてあり、興味を持って語彙を増やせる工夫がされている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	「なぞなぞ」「しりとり」「回文」など、遊びながら学ぶ「ことば遊び」が載せられており、言語活動が広がるよう配慮されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	見出し語が、日常の会話や文の中でどのように使われるかについて例文と挿絵で示されており、絵本を読むように、読んだり、見たり、遊んだりしながらことばを学ぶことができるよう工夫されている。

## (10) 「言葉図鑑(3) かざることば(A)」 偕成社 (めやすとなる学年：3～5年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	様々な生活の中で見かける様子や人々の心の動きが形容詞として集められ、語彙を豊かにすることを目指しており学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	親しみやすい挿絵とかざることばが対応しており、視覚的にも印象づけられ、興味・関心を喚起しやすい。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	「どんな～？」と尋ねながら、見開きで16語ずつ、物の形やありさまを言い表すことばが取り上げられてあり、挿絵と対応させながらことばを楽しく広げていけるよう工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	挿絵が面白く、人物の表情もわかりやすく描かれてあり、同義語や対義語のニュアンスの違いが理解しやすい。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	本書におさめられている形容詞が五十音順に並べられており、どのページに載っているのかがわかるようになっている。自分でことばを調べられるように工夫がされている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	16コマの絵とことばで、ものの形やありさまが面白く表現されていて、漫画のように読み進めることができるなど、読書活動につながるよう工夫されている。

(11) 「漢字がたのしくなる本 ワーク 3 部首あそび」 太郎次郎社

(めやすとなる学年：4～6年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	漢字の意味的ななかまのつくりかたとそのつながりで漢字の基本的な構造や仕組みがわかるよう工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	ワーク形式で答えを記入し、児童の理解の状況を確認しながら読み進めることができるよう工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	漢字に対応した挿絵がふんだんに使われており、漢字のなりたちについて興味をもって学習できるよう工夫されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	「〇〇からできた部首」というように部首ごとにまとめられ、漢字の成り立ちがわかりやすく説明されており、漢字を整理して覚えることができるよう工夫されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	部首の系列や意味、形などを、カルタ、トランプなどの漢字遊びを交えながら覚えられるように工夫され、興味を喚起させるように構成されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	漢字の成り立ちが絵とともに説明されており、絵を見ながら漢字に興味をもって読み進めることができるよう工夫されている。

(12) 「ゆっくり学ぶ子のための「こくご」3(改訂版)

(文章を読む、作文・詩を書く)

同成社

(めやすとなる学年：4～6年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	文章を読む力と書く力を着実に身に付けていけるように工夫されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	文字の大きさや行間が工夫されており、分かち書きからつながりのある文章へと段階を追って理解しやすい表現・表記になっている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	身近な題材の文章を読んで問いかけに答えたり、作文や詩を書いたりできるように段階を追って構成されている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	語彙を広げることを目指した「ことばのべんきょう」が16項目載せられており、日常生活の基礎基本となる言語を段階を追って理解できるように工夫されている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	学校①②③、うちのこと①②というように、同じテーマで違う文章を紹介し、自分も身近なテーマで読んだり書いたりしてみようという意欲が湧くように工夫されている。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	挿絵は内容に即したものであり、イメージしやすいよう配慮されている。

(13) 「言葉図鑑(10) なまえのことば」 偕成社 (めやすとなる学年：4～6年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	事物の名を表す名詞がたくさん紹介されている。興味をもって読んだり話したりしながら、伝え合う力が高められるように工夫されている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字にはすべてに振り仮名が付けてあり、短くわかりやすい文章で説明され、理解しやすいように工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	わかりやすく楽しい挿絵で視覚的にももの名前が印象づけられるように工夫されている。また、身近で多様なことばに広がっていく構成になっている。
④ 日常生活の基礎・基本となる言語の理解を深める内容となっているか。	うまとびの「うま」、かたぐるまの「くるま」といった名前や同音異義語など、様々な名詞について、簡単な話とわかりやすい絵で説明されていて、基礎基本となる言語の理解を深められるようになっている。
⑤ 児童が意欲的に言語活動を広げていくことができる内容となっているか。	自分たちをとりまくあらゆる事柄や物に付けられた名前について興味をもち、学習をきっかけとして、自分でもそのことばや違う名詞について説明したくなるような内容である。
⑥ 児童の読書活動を活発にするよう工夫されているか。	「これは～です。」という始まりから、そのことばが面白く紹介されており、児童の読書活動を活発にするよう工夫されている。

種目名 【書 写】

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	文部科学省検定教科書を児童の実態に応じて使用することが考えられる。一般図書採択にあたっては、左記の具体的観点を満たすものとする。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	
④ 丁寧に書くことへの関心や意欲を育てる内容となっているか。	
⑤ 筆記具や用紙の特質を生かした、児童の学習意欲を高めるよう工夫されているか。	

## 種目名 【社 会】

### 一般図書選定のための参考事項

#### (1) 「はっけんずかん のりもの改訂版」 学研 (めやすとなる学年：3年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	乗り物の説明とともに、乗り物の役割やその乗り物を使って仕事をする人々の様子が示され、働く人について学習できるようになっており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	表現は平仮名と片仮名で簡潔に書かれており、絵や写真の補助的な意味合いが強いので、親しみやすい。また、しかけを楽しみながら発見する楽しさを味わえるよう工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	物語性をもった絵と写真が交互に配置されている。また挿絵の扉を開くと乗り物の仕組みや人の動きがわかるようにもなっており、学習が効果的に進められるよう配慮されている。
④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	町の中で暮らしを支える乗り物から、海や空、宇宙で活躍する乗り物へと、児童が夢や憧れをもって学習が展開できるような構成から、現代社会の広がりを感じられるよう工夫されている。
⑤ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	身近な町の中の乗り物から鉄道、船、飛行機など、地域の実態に即して、学習が展開できるような構成になっている。

#### (2) 「スキャリーおじさんのにぎやかなビジータウン」 B L出版 (めやすとなる学年：3～4年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	社会生活を支える様々な仕事について、ビジータウンに住む人々を介して魅力的に紹介されており、学習指導要領に示された目標や内容に沿ったものとなっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	様々な仕事の内容が短いや分かち書きで簡潔に紹介されている。表記は平仮名と片仮名が中心でわかりやすい。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	愛らしくユーモラスな絵やコメントは児童の興味・関心を喚起し、各場面のエピソードを想像しながら楽しく読み進むことができる。大きなページは、細かに描き込まれた絵を十分に楽しめるよう工夫されている。
④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	様々な職種と働く場面が絵と文でわかりやすく紹介されており、社会生活に関係した内容が豊富に取り入れられている。
⑤ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	ネコのハックルとミミズのローリーが様々な仕事を見学・体験する内容に自分自身を重ねることで、体験的な活動へと導くような展開ができる内容となっている。

(3) 「シリーズ生活を学ぶ5 遠くへ行きたいな」 福村出版

(めやすとなる学年：3～5年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	交通ルール、社会的マナー、各種の公共施設等についての説明と利用の仕方がわかりやすい文で載せられている。社会生活で生かせる内容が示されており、学習指導要領に沿ったものとなっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	児童に語りかけるような平易な文章が読みやすい。漢字には振り仮名が付けられ、幅広い発達段階の児童に応じて活用することができる。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	大きく豊富な挿絵が随所に描かれ、場面の理解を助けている。日常生活の自立に向けて、身に付けておきたい社会生活の仕組みやきまり、マナーに加え、その活動に適した服装や持ち物等が具体的に紹介されていて、経験を伴った学習を進められるように配慮されている。
④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	交通ルールやマナー、買い物などの身近なことから、海水浴や山のぼりなどの余暇活動へと、児童の夢が広がる構成になっている。
⑤ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	児童の生活場面そのものが取り上げられており、学校行事や家庭生活での体験的な活動と直結させながら繰り返し積み重ねたい内容となっている。

(4) 「ドラえもんちずかん1 につぼんちず」小学館 (めやすとなる学年：3～5年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	地方別に各地の風土や文化が紹介されているとともに、日本の四季や料理、野菜・果物、動物、鉄道などテーマ別に学習できるものとなっており、学習指導要領に示された内容に沿ったものとなっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	文章は平仮名、片仮名で簡潔に書かれており、絵や写真の補助的な役割の意味合いが強いので、親しみやすいものとなっている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	各ページに多くの写真や絵が使われ、児童がわかりやすく学習を進められるよう工夫されている。各ページには、クイズが載せられてあり、学んだことを確認できるようになっている。
④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	関心のある地方や興味のあるテーマから読み進めることもでき、生活経験の延長や発展として、必要なテーマからでも活用することができる。
⑥ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	日本各地の様子や様々なテーマに沿った資料が取り上げられており、児童の興味・関心に即したもので、体験的な活動への展開が期待できる内容となっている。

## (5) 「こども日本地図」 永岡書店

(めやすとなる学年：4～6年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	見やすい地図とともに、各都道府県の名所や特産物が写真やイラストとわかりやすい文で説明されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	地図記号や等高線、方位などについてわかりやすい表記がなされている。漢字には、すべて振り仮名がつけられていて読みやすい。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	各ページに多くの写真が使われ、児童がわかりやすく学習を進められるよう工夫されている。巻末には付録カードがついており、カードを使って楽しみながら学習できるよう工夫されている。
④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	8つの地方と47都道府県をさまざまな角度から捉えた地方別・都道府県別ページと、「何でもランキング」「全国ふるさとの名物料理」「日本にある世界遺産」「日本の昔話・民話のふるさと」などのテーマ別ページがバランスよく配置されている。
⑤ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	日本各地の様子や様々なテーマに沿った資料が取り上げられており、児童の興味・関心に即したもので、体験的な活動への展開が期待できる内容となっている。

## (6) 「絵で見る日本の歴史」 福音館書店

(めやすとなる学年：6年)

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	氷河時代から現在までの日本の歴史を絵物語として、絵巻物のように31の場面で示されている。各ページの右上には西暦と日本の時代名が併記され、ページの下にはその時代のエピソードが簡単に記されており、学習指導要領に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	漢字には振り仮名が付けられていて読みやすい。各時代の人々の暮らしが見開きで1枚に表されていて、絵と簡単な文章で理解できるよう工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	時代考証が行き届いており、細部まで緻密に描き込まれた絵は、児童の興味・関心を高められるものとなっている。
④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	その時代に生きた無名の人々が生き生きと生活する様子が描かれており、ちりばめられた多くのドラマから児童の生活に根ざした様々な気づきが生まれるものとなっている。
⑤ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	巻末の「解説」には各場面の詳しい注釈があるので、調べ学習を進める上で手がかりとして活用できるものとなっている。

具体的観点	調査のまとめ
① 学習指導要領に示された目標や内容に沿っているか。	取り扱う時代が大きく3つに分けられ、その内容を「かわらばん」ふうにとまとめたわかりやすい構成となっており、学習指導要領に示された目標や内容に沿った内容となっている。
② 児童の障害の状況や発達段階に即しているか。	時代の様子を児童がイメージしやすいようにイラストが多く使われ、興味をもって学習できるよう工夫されている。
③ 学習が効果的に進められるよう配慮されているか。	それぞれの「かわらばん」には、時代名だけでなく年号も表記されているなど、学びやすいように工夫がなされている。
④ 社会生活等に関係した内容が適切に取り入れられ、配置されているか。	イラストについている吹き出しに、人々のつぶやきが書かれており、歴史上の出来事だけでなく、人々の様子も学習できるよう工夫されている。
⑤ 地域の実態を生かし、観察や調査・見学などの体験的な活動が展開できる内容となっているか。	索引によって、調べたい人物や出来事が探し出しやすくなっており、調べ学習などにも活用しやすいものとなっている。